

愛知県紙器段ボール箱工業組合

SDGsの取組

取組・活動内容	愛知県紙器段ボール箱工業組合は法律に基づく紙器及び段ボール箱業者の県内唯一の工業組合です。業界では資源のリサイクルを考慮し環境保全と省資源運動に努めています。組合も自ら身近なSDGsを手掛けています。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 8, 10	<ul style="list-style-type: none"> ・技能検定の受検を推奨し、有資格者である技能士を育成して業界で活躍できる人材を増やします。 ・外国人技能実習生受入事業で、業界の人手不足の緩和と誰もが社会の担い手となれるような社会を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年まで技能検定実施年に技能検定講習会を年1回開催。 ・全日本紙器段ボール箱工業組合連合会と共同で2025年までに技能実習職種に加えて特定技能業種の指定を実現。
	社会 3, 4, 5	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の生活習慣病の早期発見と健康への気付きに取組みます。 ・職員及び組合員向けにSDGsに関する情報提供を行い、SDGs教育に取組みます。 ・外国人技能実習生に対し日本語学習支援を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年まで人間ドック希望者の費用負担100%を実施。 ・職員及び組合員のSDGs認知度100%を2030年まで継続。 ・2030年まで自主学習用の日本語教材を希望者全員に提供。
環境 12, 13	<ul style="list-style-type: none"> ・全日本紙器段ボール箱工業組合連合会とともに、紙器工場から発生した裁落古紙を利用したトイレットペーパーを製作販売します。 ・組合事務所内でコピー両面印刷や裏紙使用を推進して紙の減量に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年まで年に1回、関係者向けに斡旋販売を実施。 ・2026年度までに2022年度比で、組合事務所での紙使用30%削減と再生紙利用率70%を実現。 	